

えんがわ

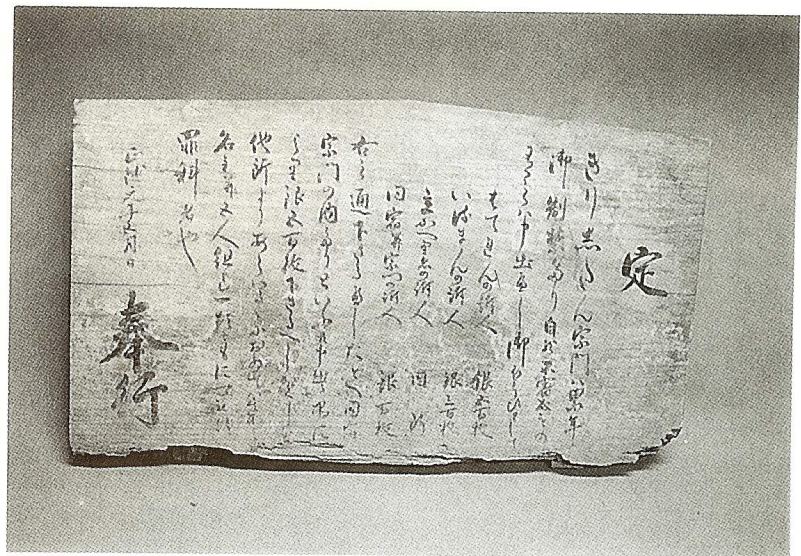
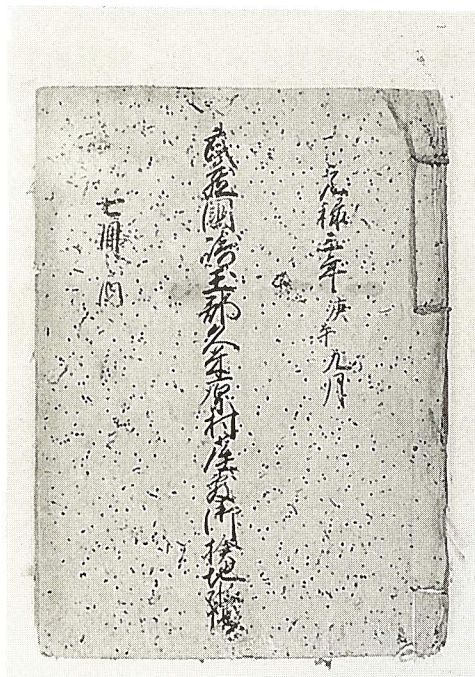
第12号

東条原地区で初めての古文書発見 ～郷土資料館で展示会～

江戸時代、現在の宮代町は大きく分けると約10の村々から成り立っていました。幕末には、天領と呼ばれる江戸幕府の直轄地や旗本領、千葉県佐倉藩領、15代将軍徳川慶喜を出した一橋藩領に属していたようです。更には、1つの村が数人の領主によって分けられ統治されていた村もありました。東条原村はその1つで、佐倉藩堀田氏領と旗本渥美氏、旗本細井氏によって分割されていました。

今回、古文書が発見された大字東条原の岡安さん宅は旗本細井氏に属し、村方三役の内の名主をしていました。名主とは庄屋とも呼ばれ、今の宮代町では町長に相当します。そのため、岡安さん宅で見つかった古文書の多くは東条原村の公文書でその当時の村の基本資料といえます。5代将軍徳川綱吉の頃の検地帳と呼ばれる土地台帳や旗本細井氏から東条原村に出された年貢割付状と呼ばれる税金の通知書、さらには大雨等により利根川が決壊したため、田んぼや畑で農作物が収穫できなかったことにより、年貢(税金)の減免を要望した願い書なども見つかっています。NHKの大河ドラマ徳川慶喜で安政の大地震が取り上げられていましたが、その当時の被害の状況を示した古文書もあり、宮代町でも安政の大地震は相当大きな地震であったことが裏付けられました。このほかにも高札と呼ばれる板に書かれたおきて書が6枚発見されました。

この岡安家文書は、昨年11月に発見された百間本村の折原さん宅の古文書や絵図、百間西原上組の市川さん宅の古文書などと併せて平成10年5月28日からの企画展『新発見古文書・絵図展』で展示する予定です。



左が岡安家文書「武蔵国埼玉郡条原村屋敷御検地水帳」 右が高札

～収蔵資料の案内～

町指定文化財 姫宮神社絵馬

「熊野詣」

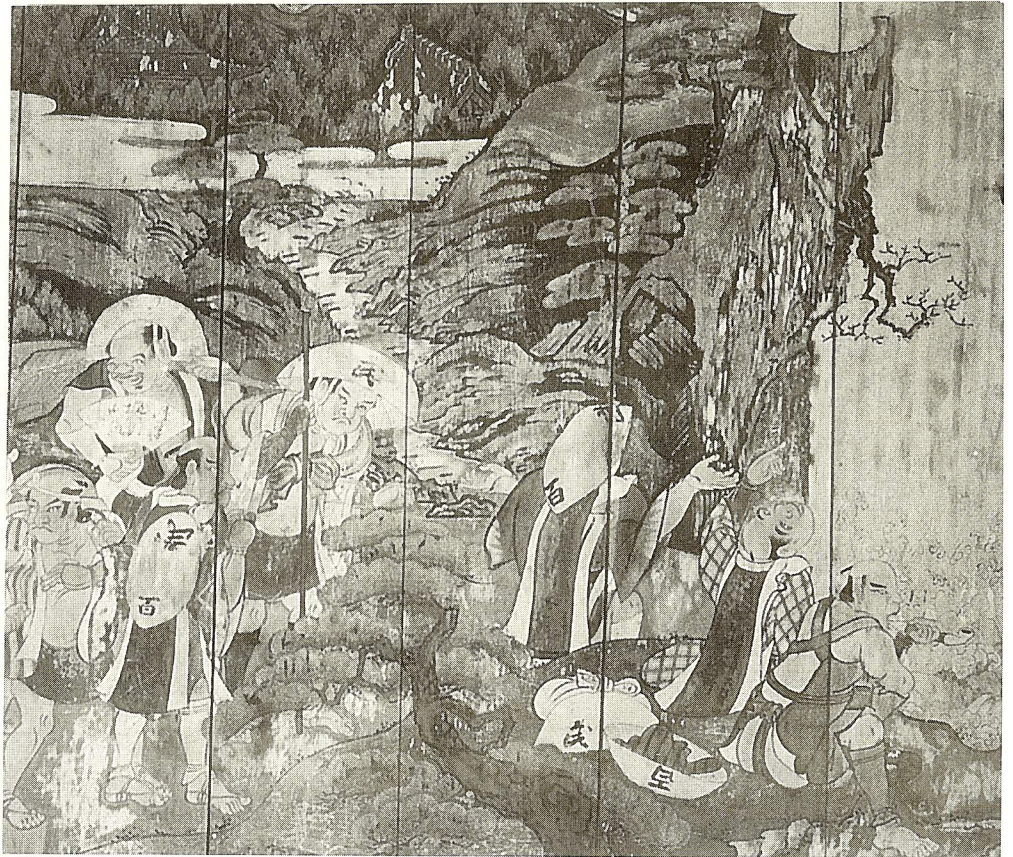
複製完成

5月から一般公開

馬は古代から神がこの世に来る時の乗り物として信仰されてきました。このため神仏に様々な願いを祈り、また願いがかなった証として馬を描いた板を神仏に掲げました。これが絵馬です。

ことに江戸時代に大型のものや小型のものまでたくさんの絵馬が造られ、人々の願いを託し社前に掲げられました。今日でも各地の神社で交通安全や合格祈願などの様々な形で掲げられているのを目にします。

こうした絵馬の一つが姫宮神社にある「熊野詣」の絵馬です。町指定文化財の一つで、掲げられたのは今から183年前、江戸時代後期にあたる文化12年（1815）仲冬（陰暦11月）中旬で、西国33ヶ所を巡った記念として、百間村（内野・山崎）の人達によって奉納されたことが絵の中や裏面に記されています。西国33ヶ所とは、那智山青岸渡寺を大1番として紀三井寺など33ヶ所の観音霊場巡りのことです。

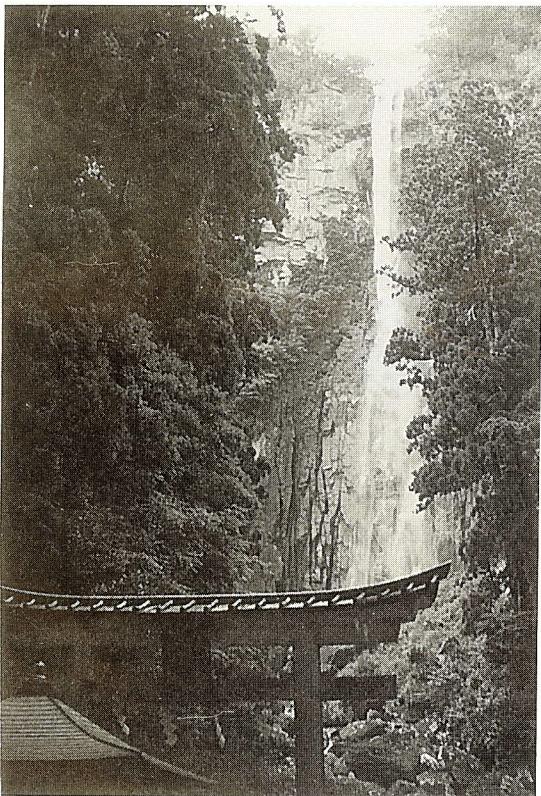


町指定文化財 姫宮神社絵馬「熊野詣」（一部）

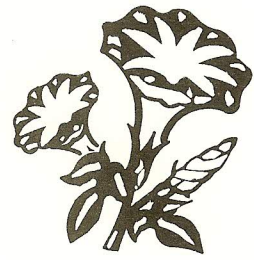
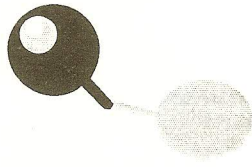
この絵馬は、和歌山県にある熊野本宮大社、熊野速玉神社、那智山青岸渡寺をバックに那智の滝を見物する11人の姿が描かれています。絵馬の中に描かれた道中ガッパに「奉納西国三十三所」笠には武州の「武」や百間の「百」が、また着物の柄にも良く見ると「百」が描かれています。杖をついた人、キセルでタバコを吸いながら滝を見る人など、非常に表情豊かに描かれた秀作です。一方、裏面には年号とともに「奉掛御宝前 百間村同行拾壹とあり西国巡りに出かけた11人の名が記されています。縦102センチ、横151センチの大型の絵馬です。

このように、当時の人々の信仰の様子を伝えるとともに美術品としても貴重な資料であることから、他の2点の絵馬とともに平成2年に町の文化財に指定されました。

今回、文化財の保存という観点から複製が作成されたものです。本物の絵馬と寸分変わらず造られました。ぜひごらん下さい。



那智の滝

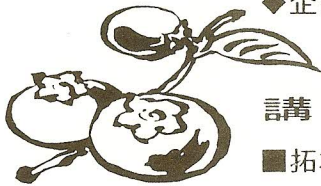


宮代町郷土資料館 展示・講座スケジュール (平成10年度)

宮代町郷土資料館では、楽しい展示や講座をたくさんおこなっています。「おかし」を見て、聞いて、体験してみませんか。

展 示

- ◆企画展「平成10年度郷土資料館収蔵品展 昔のやきもの 徳利」(~5/24)
- ◆企画展「(仮)古文書・絵図展」(5/28~8/9)
- ◆企画展「(仮)発掘された金原遺跡」(8/13~10/25)
- ◆特別展「(仮)大獅子舞展」(10/29~12/6)
- ◆小展示「(仮)講座作品展」(12/10~2/7)
- ◆企画展「ひなまつり」(2/10~3/28)



講 座

■拓本教室

石に刻まれた文字などを読んでみましょう。(6/6)(一般対象)

■夏休み体験学習教室「進修学校」

資料館の野外施設で昔の遊びや生活を体験しましょう。(7/29~8/1)(小学生対象)

■かやぶき民家で昔話を聞く会

旧加藤家の座敷で昔話を聞きましょう。(8月均)(小学生以上)

■縄文土器づくり教室

土器づくり(8/8) 土器焼き(8/29)(小学生以上)

■中秋の名月お月見会

すすきや手作りのお団子をお月様に供えましょう。(十五夜)(小学生以上)

■わら細工教室

今年とれたわらを使って、わらぞうりを作ってみましょう。(10/17)

■古文書講座

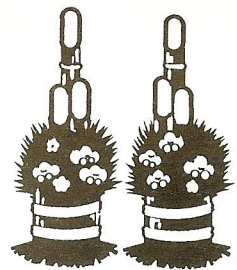
(小学生以上)

昔の書き物を読んでみましょう。(10月~12月の土曜日 全5回)(一般対象)

■郷土史講座「(仮)宮代の神社・仏閣」

さまざまな視点から宮代の神社・仏閣の歴史を探ります。

(2~3月の日曜日 全5回)(一般対象)



※日程などが変更になることがあります。詳しくは

郷土資料館 ☎34-8882までお問い合わせください。

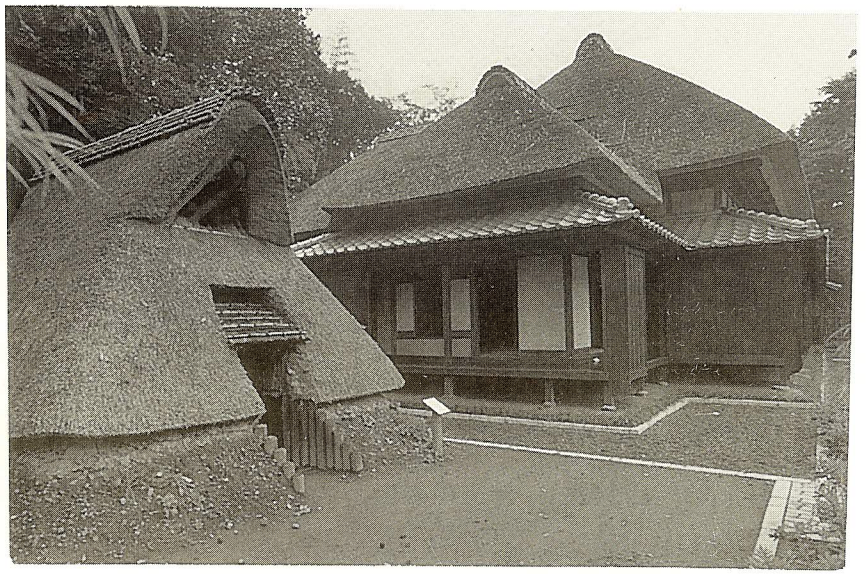
△これ何だべな？▽

旧加藤家の屋根が茅葺きであるということは、みなさんもよく知っていると思いますが、屋根をよく見ると茅葺きの茅がところどころ飛びだしています。また、もっと良く見てみると透明のテグスが見えると思います。これはいったい何だろうとみなさんは思うのではないのでしょうか。

これは、毎年カラスが巣作りをする時期になると、旧加藤家の茅葺き屋根の茅を抜いて持って行ってしまいます。それで屋根から茅が飛びだして見苦しい状態になってしまいます。

毎年カラスが飛んでくると資料館の職員は急いで旧加藤家の屋根にテグスを張りめぐらします。なぜテグスなのかというと、よく麦畑などで麦が育ち始めてから収穫の時期になるまで麦畑を注意深く観察していると、農家の方が一生懸命に知恵をしぼっていろいろな形をしたかかしやさまざまな色のひもを張りめぐらして、鳥が麦や農作物を食べるのを防ごうとしているのを見かけます。

これと同じく鳥がこのような光るものや動くものに敏感に反応し嫌がる習性を利用して資料館ではテグスをはりめぐらしています。最近ではみなさんもお存じのとおりカラスは非常に利口であり、職員が苦勞してテグスをはりめぐらしてもカラスはしぶとく茅を抜いて行ってしまいます。もし、みなさんがカラスを追い払う良い方法をご存じでしたら、資料館の職員に教えてください。よろしくお願いします。



奥が旧加藤家 手前は縄文時代復元住居
写真ではテグスは写っていません。

わたしのひとこと！

今回の郷土史講座 「人とモノ 歴史物語 ～宮代の交流史～」 も好評のうちに幕を閉じました。そこで、参加した人たちの声を集めてみました。

◆河川にまつわるお話に興味がありました。

◇現代では考えられないような素朴な生活に大いなるロマンを感じました。

◆この町に来て10年、ちょっと宮代にふれたような気がしました。

◇古代の交通が陸上ではなく水運であったことを何となく分かっていたが、その話を講師の方から直接聞いて興味がありました。

◆宮代にも遠方（長野県和田峠付近と推定される）から来た、黒曜石のヤジリが出土していることにたいへん驚きました。

◇川の歴史・橋・道の話などが興味深かった。

◆和戸教会が埼玉県で最古のキリスト教会であると聞いて驚きました。

◇町内見学会の時に最後に寄った発掘現場（国納・丸屋遺跡）が興味深かった。

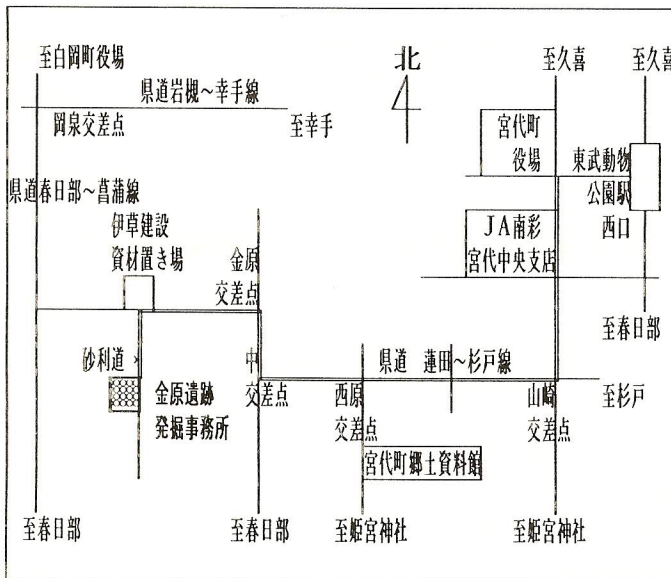
資料館日誌抄

平成9年

- 10月2日 加須市 県内文化財めぐり見学(35名)
- 10月12日 大宮市歩こう会見学(90名)
- 10月19日 体験学習 わら細工教室(17名)
- 10月23日 鷺宮学園(影の国いさか大学)第18期生見学(8名)
- 10月24日 鷺宮学園(影の国いさか大学)第21期生見学(20名)
- 10月25日 古文書講座(5回講座)
(12月13日まで)
- 10月30日 特別展「養蚕 錦絵の世界」
(12月7日まで)
- 11月9日 特別展 講演会「養蚕の民俗」

平成10年

- 1月29日 企画展「ひなまつり」
(3月29日まで)
- 3月1日 郷土講座「人とモノ歴史物語
(5回講座) ~宮代の交流史~」
- 3月1日 第1回 「縄文人の旅」
- 3月8日 第2回 「古代の宮代と河川交通」
- 3月15日 第3回 「中世の道~宮代の古道を探る」
- 3月22日 第4回 「町内見学会」
- 3月29日 第5回 「江戸時代の人と交流」



金原遺跡への案内図

郷土資料館利用のご案内

- ◇入館料 無料
- ◇開館時間 午前9時30分から午後4時30分まで
- ◇休館日 毎週月曜日(その日が祝日にあたる場合は翌日火曜日も休館)
5月5日・11月3日は開館、それぞれ翌日が休館
年末年始(12月26日から1月6日まで)

資料寄贈者名簿

平成9年10月から平成10年3月までに民具や古文書等の歴史資料を寄贈していただいた方は、下記の通りです。厚く御礼申し上げます。ご寄贈いただきました資料は今後、企画展等でご紹介させていただきます。

(50音順・敬称略)

青木千代子 民具
岡安邦彦 高札
加藤勝司 民具
中村光子 民具

今後も、昔を語る様々な資料を収集してまいります。ご協力の程、よろしく願いいたします。

コラム-クルミの木-

◆春です。また出会いと別れの季節がやってきました。私は四季の中でこの季節が一番好きです。長く寒い冬が終わりを告げて、暖かな風が吹き、花々も色とりどりに咲きはじめ、すがすがしい気持ちにさせてくれる季節。だからでしょうか、四季のうちでは一番短く感じる季節でもあります。資料館の森にも、新緑の季節がやってきました。木々の葉は雨にうたれるたびにうるおって、木々の緑は日毎に色濃くなってゆきます。また、資料館の森の中から、鳥たちのさえずりが聞こえてきました。◆郷土資料館も、おかげさまで5度目の春を迎えることができました。これもひとえにみなさまのご理解とご協力あってのものと感謝いたしております。町内の貴重な文化財を後世に伝えるため、これからも資料館はがんばります。町の歴史について、もし、わからないことなどがございましたら、資料館の職員にお声がけくださるか、資料館までお電話ください。◆金原遺跡の発掘現場にも、ぜひお立ち寄りください。土日と祝日を除く平日に発掘調査を行っています。また、金原遺跡の発掘事務所の一階には、金原遺跡で出土した土器も展示してございますので、ぜひ一度ご覧になってみてください。(平日のみ)なお、金原遺跡へは左の案内図を参考にお越しください。

宮代町郷土資料館だより 第12号
発行年月日 平成10年4月1日
編集発行 宮代町郷土資料館
〒345 埼玉県南埼玉郡宮代町字西原289番地
☎0480-34-8882